

# 活かす通信

2022年4月 (177号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

真価問われる岸田首相—オミクロン株と参院選が焦点

★★

1月17日に通常国会が召集され、19日20日の両日、各党代表質問が行われた。自民、公明の与党を含めた各党代表の質問に対し、岸田首相はモットーの「聞く耳」を発揮して各代表がした質問項目に逐一答弁。よくある“答弁抜け”がほとんどなく野党としての追及は、一問一答形式でより細かくやり取り出来る衆院予算委員会を待たねばならなくなった。ただ予算委員会で岸田首相が問題発言をしそうではないし何となく今国会（1月17日召集、6月15日閉幕）はクリア出来そうだ。しかし、オミクロン変異株が猛威を振るっておりこれに岸田首相は苦闘している。これの対処によっては、岸田内閣支持率が暴落しないとも限らない。目下、岸田内閣の支持率は52%から66%までと各社とも極めて高い。オミクロン株の“爆発感染”があって指示が朝令暮改しているものの上昇している。ただ、岸田首相は施政方針演説で中国の尖閣諸島への不法侵入やウイグル族や香港での人権侵害などは触れなかったことが自民党内で問題になっている。またオミクロン変異株の感染力が強すぎて医療崩壊が起きる可能性も。岸田首相への信用失墜も有り得る。

問題は参院選挙である。政府与党は6月15日までの通常国会は延長しない方針で公選法の規定などから7月10日を参院選投票日とする予定だが、どうも自民党と公明党間がぎすぎすしている。2回目の10万円給付金問題が発端なのか。これは昨年の衆院選挙での公明党の公約であるため、公明党側が積極的だった。これに対し自民党は“バラマキ批判”を警戒し、結局、所得制限を設け年収960万円以下で合意した。しかしこれが背景にあるのか、いつも参院選で自公が相互推薦をしている。「公明党が1人区での自民党候補推薦し自民党も複数区での公明党候補を推薦する」というもの。過去の参院選で問題にならなかったのに、これが合意出来ないようだ。自公両党の参院勢力が過半数いかない場面が出て来る。今は幹事長レベルでの調整に任せているが、ここで岸田首相がこの問題にどんな指導力を発揮するのか。出来なければ即政局である。維新や国民民主党などの巻き込んだ大掛かりな政局である。 (憲)

★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インドのウォーレン・バフェットからのアドバイス」

★★

今回は「インドのウォーレン・バフェット」と異名をとる投資家、ラケシュ・ジュンジュンワラ氏（61 写真）の最近の交流会での発言をご紹介します。

○ 市場を予測することについて

“Nobody can predict weather, death, market and women. Market is like a woman, always commanding, mysterious, uncertain and volatile. You can never really dominate a woman and likewise you cannot dominate the market”.（天気、死、市場、そして女性は誰も予測できない。市場は女性のように、いつも強い立場にいて、神秘的で、不確かで、気まぐれだ。女性を実際には支配できないように、市場を支配することなどできない。）

○ インドの将来について

“If you see history, all prosperous societies carry two qualities: skilled and hard-working people and a democracy. We have both. India’s GDP is going to grow at 10% by financial year 2025-26”.（歴史を見れば繁栄した社会には二つの特質があることが分かる。熟練した勤勉な人々、そして民主主義だ。我々には両方ある。インドの経済は 2025～26 会計年度までに 10%成長するであろう。）

○ インドの不動産について

“The IT industry will employ 5million more employees in the next 5years and there would be demand for 5million houses. The urbanization in India is half of China’s, and as urbanization comes, housing demand has to come”.（IT 産業は次の 5 年間に 5 百万人の新規雇用を生み出すだろう。そして、5 百万戸の住宅が必要になる。インドの今の都市化は中国の半分に過ぎない。これからのインドでは都市化が進むに連れ住宅需要が盛り上がるに違いない。）

氏は、インドの株価指数が約 150 ポイントだった 1985 年頃に株式投資を始め巨万の富を築きました。現在の指数は 55,000 ポイントを超えています。投資の知恵と歴史観そしてインド経済の発展が彼を大きな成功に導いたようです。



純資産は6,000億円を超え、慈善家としても名高いジュンジュンワラ氏

★★

## ムッシュ望月の映画ランキング+相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

1, 映画：洋画「355」

2月には11作品に出会い、累計では26作品となりました。印象に残った作品は、スパイ映画の「355」、アニメの「鹿の王」、リバイバルの「ウエストサイドストーリー」、アカデミー賞候補の「ドリームプラン」、シニカルな英国作品の「ゴヤの名画と優しい泥棒」の5作品です。今回の紹介作品はスパイアクションの「355」、各国（アメリカ、コロンビア、ドイツ、イギリス、中国）の女性エージェントが集結して世界を守るため、極秘兵器を国際テロ組織から奪還する本格スパイアクションです。「ジェイソンボーズ」シリーズの制作スタジオ作品だけに女性エージェントのアクションシーンは見物です。秘密兵器を求める各国から派遣された5人女性エージェントが集結、ライバル同士からチームを組み、コードネーム「355」を形成します。それぞれの才能を駆使して、世界をカオスに陥れるテクノロジーデバイスを利用とする国際テロ組織に立ち向かい、第3次世界大戦を阻止します。何故この作品を選んだか、子供の時代に見たテレビドラマ（1976～81年）「チャーリー・エンジェル」の印象が強烈だったからです。2000年のキャメロン・ディアス主演の同名作品が大ヒット、2020年には「トワイライト」シリーズのヒロイン役を演じたクリスティン・スチュアートが主演した同名作品が上映されました。クリスティン・スチュアートは「スペンサー・ダイアナの決意」ではダイアナ元皇太子妃を演じ、2022年には第94回アカデミー賞主演女優賞にノミネートされています。素敵な女性達のアクションシーンは魅せられます。2022年3月28日に第94回アカデミー賞受賞式が行われ、邦画の「ドライブ・マイ・カー」が監督賞にノミネートされています。国際映画部門では13年ぶりの受賞が有力なようです。

## 2、相場展望：相場は最悪期を脱出しつつある：

デフォルト（債務不履行）が懸念されていたロシア国債、ロシア政府は期限の16日にドル建て国債の利払いを完了し、ひとまず回避した。ただ、国債の利払いや元利金の返済は続き、払い続けるかなお予断は許せません。JPモルガンは送金前に米財務省に違反にならないかを確認し、承認後に支払いをしている。米国政府はロシア政府値との取引を禁じているものの米財務省の外国資産管理局が米市民に対し、ロシアの財務省や中央銀行、政府系ファンドから債券の元利金を受け取ることを5月25日まで限定的で認められている、この特例を利用したとみられる。経済制裁で中央銀行の資産（約6300億ドル）は凍結されているが、海外の銀行や現金で1500億ドルを保有していると推測されている。3月31日の4億4700万ドル、4月4日の21億2900万ドル、今年の利払い総額は50億ドル弱と決して多くはない。特例が5月25日までであることを考慮すると、デフォルト懸念は当面回避出来たと市場は受け止められたことになる。ロシアは、ウクライナ・キエフに対する侵略の期限を前提とした協議を行い、有利な条件を引き出す狙いとも考えられる。合意交渉の道は意外に長いかもしれない。ロシアの自国通貨建てでは1998年にデフォルトに陥っている。対外債務でのデフォルトはボルシェビキ革命時代まで遡ることに。過去の経験から、ロシアは中国に輸出した原油や天然ガスの料金はドルではなく、人民元で受け取るなど中国依存を強めている。更にロシア中央銀行と中国人民銀行がそれぞれの銀行決済網の統合も検討されているとの報道も見られる。人民元と結びつくことで瀕死のルーブルの信用を下支え狙いが伺える。それだけに人民元力を試す機会にもなりかねない。米に不満を持つサウジは一部石油決済を人民元建てに検討するとの報道もあり、このウクライナ問題ながら、中ロと欧米の覇権争いの代理戦争と思われる。ただ株式市場の最悪期は過ぎ、回復過程に入り出している。2020年3月のコロナショックの回復過程に当面は類似していると判断し対応したい。

★★

2022年4月のイベント＋お知らせ

★★

- 06月15日(水)：18：00～第30回夏の交流会、外国特派員協会  
基調講演：雨宮京子氏（コロナやウクライナ後の相場はどうなる）  
プチコンサート：清野友香莉氏（オペラ歌手、二期会会員）
- 04月06日(水)：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所
- 04月12日(火)：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所
- 04月14日(木)：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
- 04月19日(火)：18：30～イカス投資塾（夜間）、イカス事務所
- 04月23日(土)：13：00～アマルフィ投資クラブ、リモート
- 04月23日(土)：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所
- 04月28日(木)：15：00～東京3E投資クラブ、リモート

サロン・ド・知久：

特別企画：22年2月26日、3月26日、4月23日、5月28日、6月25日、

7月23日、第4週の土曜日：14：00～16：00 6回シリーズ  
講師：勝池和夫氏、「異次元の成長が期待されるインド経済」

第3回：22年4月22日(金)：18：00～21：00 倶楽部エル  
カラオケ会、料金は6500円（消費税込み、飲み放題）

第14回：22年4月20日(水) 14：00～16：00  
講師：郷圭子氏、朗読会「親方と神様」

第15回：22年5月25日(水) 14：00～16：00  
講師：宇留田初実氏、朗読会「源氏物語とお経」

第16回：22年6月22日(水) 14：00～16：00  
講師：野口雅代氏（マジシャン）、人を繋げるマジック

第17回：22年7月20日(水) 14：00～16：00  
講師：築野友衣子氏、フランス語による紙芝居

☆You Tube「ムッシュ望月のこれが注目株だ」2021年8月より  
毎月2回配信、大好評！！ <https://youtu.be/sal2oyMxie4>

★★

事務局からご案内

★★

☆िकास投資塾の参加費は1回3000円で、昼間講座（毎月第2火曜日午後4時から2時間）と夜間講座（毎月第3火曜日午後6時30分から2時間）があります。是非ご参加ください！！個別特別相談は1回1時間1万円。

☆サロン・ド・知久：参加費1回2000円、勝池塾：参加費1回2000円、但し年間費会員は1000円

☆投資クラブ入会希望の方は、info@toushi-club.com宛にご連絡ください。

☆当メルマガの配信登録（無料）希望、アドレス変更、配信解除連絡はホームページからお願い致します。 [www.toushi-club.com/fmerumaga.htm](http://www.toushi-club.com/fmerumaga.htm)

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用24,000円、毎月日曜日配信です。

★★

िकास通信発行人：特定非営利活動法人イカス [www.toushi-club.com](http://www.toushi-club.com)

\*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：[staff@toushi-club.com](mailto:staff@toushi-club.com)

☎：03-3432-5859 FAX:03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★